

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部
	17024	橋梁耐震化補強事業		課名	土木課 施設整備G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	01:一般会計
	基本施策	06:安全・安心なまちづくりの推進			08:土木費
	施策の方向	04:災害に強いまちづくりの推進			02:道路橋梁費
	戦略プロジェクト	02:「安全カジャンプアップ」プロジェクト			07:橋梁整備費
事業予定期間	H 16	～	H - 年度	主な根拠法令要綱等 道路法・道路構造令・道路橋示方書	

② 目的・概要	対象	市民、道路利用者
	目的	発生が懸念される南海トラフ地震等の地震災害の発生に備え、15m以上の市が管理する橋梁を対象とした耐震補強を行い、市民及び道路利用者の安心・安全を確保する。
概要	平成23年度に策定した橋梁耐震化補強事業計画に基づき、橋梁の耐震補強工事を計画的に実施する。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○耐震補強工事 ・川合椋川橋	○耐震設計 ・西畑橋、星田橋 ○耐震補強工事 ・三寺橋	○耐震設計 ・下樁世橋、牛谷橋 ○耐震補強工事 ・西畑橋、星田橋	
	年度実績	耐震補強工事 ・川合椋川橋 橋梁補修工、落橋防止システム工			
事業費	計画額	事業費	30,000千円	51,000千円	70,000千円
		国庫支出金	16,500千円	28,050千円	38,500千円
		県支出金			
		地方債	12,100千円	20,600千円	28,300千円
		その他			
	予算額	事業費	30,000千円	51,000千円	
		国庫支出金	16,500千円	28,050千円	
		県支出金			
		地方債	12,100千円	20,600千円	
		その他			
	決算額	事業費 ①	29,633千円		
		国庫支出金	16,298千円		
		県支出金			
		地方債	12,000千円		
		その他			
人件費	一般財源	1,400千円	2,350千円	3,200千円	
	総人件費 ②	293千円			
	一般職員	293千円			
	所要人員	0.04			
	臨時職員等	0千円			
総コスト(①+②)		29,926千円			
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度	
④ 指標	①	名称	耐震補強済み橋梁数(累計)	計画値	23	24	26
			耐震補強工事が完了した橋梁数	実績値	23		
				単位	橋	橋	橋
	②	名称		計画値			
				実績値			
				単位			
	③	名称		計画値			
				実績値			
				単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 当事業は概ね計画どおり進捗しているが、社会資本整備総合交付金事業の配分率が低下していることから、財源確保のため、他の交付金事業で事業採択可能なものがあるか検討していく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 交付金事業の制度改正を活用し、要望事業のパッケージを見直すことで次年度以降の配分率の向上を図った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 今年度も配分率が低下したが、他事業との事業間調整を行い完成に努めた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 計画どおり川合椋川橋の耐震補強が完成し、災害時における市民及び道路利用者の安全確保に繋げた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 橋梁の耐震補強工事については河川や道路を渡架している事が多く、工事の実施については関係する管理者の管理上の都合から施工時期や工法の制限を受ける施工となる。また、施工前の協議に時間を要する事もあり単年度で工事まで完了することが難しい為、計画的な進捗を図る必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 工事施工の前年度に施工協議を完了しておく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 前年度に協議を完了しておくことで当該年度の工事発注がスムーズになり単年度完成が図れる。	
対応時期		工事施工前年度	

【1次評価者】	産業建設部 土木課 施設整備グループリーダー 水越 洋光
【最終評価者】	産業建設部 土木課長 服部 政徳